



開校明治七年
開校146年目

宗岡小だより

学校教育目標

自分がすき・友だちがすき・町がすきな宗岡の子

育てる子供像 地域を愛し、誇りをもって、地域に貢献する子供

めざす学校像

「安全・安心できれいな学校」
「子供達一人一人の居場所があり、輝ける学校」

令和2年度 3月号

志木市立宗岡小学校

児童数 459名・学級数 18学級

住所 志木市中宗岡3-1-1

TEL 048-471-0307

3月の生活目標

一年間のまとめをし、
学校をきれいにしよう

- ・学校をきれいにしよう
- ・感謝の気持ちを伝えよう

東日本大震災10周年にあたり

校長 石田 賢一

志木市制施行50周年記念事業実行委員会が、記念事業の一つ「ご当地グルメレシピの開発」として、志木市では昔からうどんを食べる習慣があったことに着目し、「舟運いろはうどん」を考案しました。「舟運いろはうどん」とは、志木市が栄えた歴史から舟運をテーマに、当時の新河岸川において、航行の灯台とも呼べる目印となった赤稲荷（いろは親水公園内）と、志木のまち（本町通りの中心に流れていた野火止用水）にあった水車を食材（蓮根、赤い食材、油揚げ）で表したうどんです。

2月10日に本校の栄養技師が考案した「舟運いろはうどん」が給食メニューとして提供されました。子供達は、志木市の歴史に触れながら美味しく食べていました。この「舟運いろはうどん」が志木市のご当地グルメとして定着するといいですね。



さて、2月13日23時07分に福島県沖を震源地とする大きな地震が発生し、埼玉県内においても震度4を記録しました。私も自宅で就寝中でしたが、携帯電話の緊急地震速報で目が覚め、大きな揺れを感じながら、頭の中で2011年の東日本大震災の時を思い出し、緊張した時間を過ごしました。幸いなことに今回の地震は、東日本大震災と違い津波が発生しなかったため、大きな人的被害は発生しませんでした。

今年は、東日本大震災から10年という節目の年です。現在本校に在籍している児童のほとんどが東日本大震災について直接的な記憶がなかったり、まだ生まれていなかったりという状況です。しかし、保護者の方や地域の方にとっては10年前の2011年3月11日の記憶は鮮明にあるのではないでしょうか。東北地方の太平洋沿岸の都市が大津波に次々と飲み込まれたり、福島第一原発で事故が発生したり、計画停電が行われたりと日常生活が大きく変化しました。

今回の地震で人的被害が出ず、建物の倒壊数があまり多くなかったのは、10年前の東日本大震災以降の地震対策が有効であったと考えられます。防災も大切ですが、各家庭で、できる減災の取組も重要になってきます。東日本大震災を知らない子供達が増えている中、東日本大震災時の状況を知っている私達大人が、地震の怖さや減災のための取組を子供達に伝えることが大切です。学校においても避難訓練などをおして、地震発生から揺れが収まるまでの自身の命の守り方等を教えてはおりますが、是非ご家庭や地域で地震が発生した際の対応、特に揺れが収まった後の対応について共有していただきたいと思えます。

例えば、地震がおさまっても火災や家屋倒壊の危険がある場合や、区市町村などから避難指示が出た時は、指定された場所（公園・広場など）へ避難すること。近所の人が集まって被害状況を確認し、避難場所へ行くために一時的に集まる「一時（いっとき）集合場所」と、火災などから身を守るための「（広域）避難場所」の確認。自宅の倒壊や焼失などで生活できなくなった場合には、しばらくの間生活する「避難所」の確認。安全に避難するために、普段から周辺の地理や地形を知り、万一の時にどのように行動するか確認。災害時の状況を想像しながら、実際に歩いて確かめておく等です。

東日本大震災後、地震に強いまちがつくられています。しかし、私達一人一人が地震に強い人間にならなければ減災は不可能です。学校、家庭、地域で地震に強い宗岡小にしていきたいと思えます。